

## 中部標準化懇話会 2023年度 事業所見学会 見学録

開催日：2024年3月8日

見学先：愛知製鋼鍛造技術の館

中部国際空港（セントレア）

参加者：11名

作成者：見学会 幹事 近藤 覚

### スケジュール

9:30 名鉄 太田川駅前

10:00 愛知製鋼(株) 鍛造技術の館 館長：新庄睦生 様

熱間鍛造のご説明

大野鍛冶のご説明

11:00 中部国際空港（セントレア） 各自で昼食

13:00 中部国際空港（セントレア） バスで移動しながら見学

手荷物検査とボディーチェック

バスに乗車後、制限エリアに入り滑走路付近見学

航空機給油タンクエリアで巨大タンク見学

15:30 見学会解散

---

### 鍛造技術の館の見学内容：

見学は館長から、愛知製鋼の創立者豊田喜一郎の「良きクルマは良きハガネから」の精神から始まり、知多半島の大野鍛冶の伝統までの幅広い説明であった。

### 熱間鍛造プロセスの展示：

館内では鍛造の歴史とプロセスについて詳しく説明された。特に、自動車エンジンのクランクシャフトは、自動車エンジンの主要構成部品であり、高い強度と耐久性が求められ、熱間鍛造は、クランクシャフトの製造プロセスにおいて

重要な役割を果たしている説明があった。熱間鍛造に関連するツールや製品の展示があり、中でも6気筒エンジンのクランクシャフトは大型であり参加者も興味深く見た。愛知製鋼ではカーボンニュートラルの意味で、省資源と環境への配慮に取り組みされており、熱間鍛造は持続可能な製造プロセスとして注目されている説明もあった。

### 大野鍛冶の展示

大野鍛冶は、日本の伝統的な鍛冶技術であり、美しい刃物や農具を生み出すことで有名であり、歴史と特徴について詳しく説明があった。特に、鍛冶師の熟練した手仕事と、材料の選定および加熱の条件管理における神経の細かさに参加者は感銘を受けた。

愛知製鋼の鍛冶技術の館は、館長の熱意ある説明により、鍛冶技術の重要性と進歩について深く理解できた。



---

### 中部国際空港（セントレア）の見学内容

見学に際して、安全を確保するための厳格なセキュリティ検査とボディーチェックが行われた。

バスに乗車し、滑走路に立ち入り、飛行機の離発着様子を間近で見ることが出来た。着陸する飛行機の迫力や、滑走路とタイヤから生まれる白煙の様子を目の前にすることや、離陸の素早いタイヤの格納に参加者は感動した。

空港スタッフによる荷物搬送や、海上保安庁がヘリコプターで行う訓練を見るチャンスがあった。また、巨大な燃料貯蔵タンクから飛行機への給油方法の説明もあった。

見学ツアーは、普段見えない航空空間を体験できる素晴らしいプログラムであった。スタッフの楽しい解説とともに、セントレアの魅力を再発見できた。